

各 位

令和元年 11月 1日
山形市野草園 : 山形市大字神尾 832-3
電話 023-634-4120

山形市野草園からのお知らせ



紅葉が美しいカエデの森（前年の11月上旬撮影）

9月29日（日）朝に園内『深樹の小径』エリアでクマが目撃されたことから、来園者の安全を図るため、1ヶ月間臨時休園しておりました。開園に際しては、皆さんから安心して来園いただけるよう安全対策に万全を期した上で、11月1日（金）午前9時より開園を再開いたします。

野草園も紅葉が進み、すっかり秋の気配となりました。「ウランウデの庭」にあるカエデの森はヤマモミジやイロハモミジ、ハウチワカエデの葉は赤く、イタヤカエデやカジカエデの葉は黄色く染まり、紅葉真っ盛りです。カエデの仲間の木は他の木より紅葉が鮮やかです。

また樹木にはたくさんの果実が付いています。サンシュユやウメモドキの木には赤い果実が、ツルウメモドキの木には黄色の果実が、そしてムラサキシキブの木には紫色の果実が付いています。これらの果実は、園内にいるたくさんの鳥たちの餌になるのかもしれませんが。

春と秋にも花を咲かせるジュウガツザクラの木には葉が落ちたにもかかわらず、少しずつ開花しています。野草園の11月前半は、樹木の紅葉と木の実が晩秋の気配を感じさせてくれます。是非、園内を歩きながら紅葉をお楽しみください。

11月の予定

◆【第26回 野草園の魅力を探る写真コンテスト入賞作品展】

- 日 時 11/1(金)～11/24(日) 9:00～16:30
- 場 所 自然学習センター
- 費 用 入園料 300 円のみ (高校生以下無料)

◆【焼き芋振舞い】

- 日 時 11/2(土) 11:00～12:00 (9:00～引換券配布)
- 場 所 「クリンソウの谷」東側 (中央広場西側)
- 内 容 先着100人に小石を使った本格的な焼き芋を振舞います。

◆【きのこ汁振舞い】

- 日 時 11/3(日・祝) 11:00～12:00 (9:00～引換券配布)
- 場 所 自然学習センター
- 内 容 先着80人にきのこ汁を振舞います。

◆【バードウォッチング】

- 日 時 11/9(土) 9:30～11:30
- 講 師 嵐田 稔 氏
- 場 所 園内
- 対 象 先着20人
- 参加費 入園料及び資料代込 400 円 (高校生以下 100 円)
- 持ち物 双眼鏡 (野草園でも貸し出します。)
- 申込み 電話で野草園まで、TEL 023-634-4120

◆【四季観察会 (紅葉と木の実)】

- 日 時 11/13(水) 9:30～12:00 *10/30(水) から日程変更
- 講 師 植物案内ボランティア 佐竹恵一 氏
- 場 所 園内 ○対 象 先着20人
- 参加費 入園料及び資料代込 400 円 (高校生以下 100 円)
- 申込み 電話で野草園まで、TEL 023-634-4120

◆【ガーテニング教室】

- 日 時 11/24(日) 10:00～12:00 *10/27(日) から日程変更
- 講 師 (有) 花のひこうき代表取締役 戒野日出男 氏
- 場 所 自然学習センター
- 内 容 春まで咲き続けるビオラを使ったハンギングバスケット作り
- 対 象 先着15人
- 参加費 入園料及び材料代込 3,500 円 (高校生以下 3,200 円)
- 持ち物 防寒具、エプロン、手を拭くタオル
- 申込み 電話で野草園まで、TEL 023-634-4120

【ガイドウォーキング】

- 日 時 11 / 3 (日・祝)、4 (月・振休)、10 (日)、17 (日)、23 (土・祝)、24 (日)
1回目 10:00~11:00 2回目 11:00~12:00 3回目 13:00~14:00 4回目 14:00~15:00
- 場 所 野草園内全域
- 内 容 野草園職員と一緒に園内を散策。
申し込み不要。参加費無料（入園料のみ）。
皆さんと一緒に歩きながら、園内の植物等について案内。

●●● 11月前半に見られる花と樹木の果実と紅葉 ●●●



マルバノキ(マンサク科)

山地に生える落葉低木です。葉は互生し、卵円形または円形で基部は心形です。秋には美しく紅葉します。葉の脇に、暗紅紫色の花を2個背中合わせに開きます。花弁は5枚あり、星形に平開します。マルバノキはその葉が丸いことに基づいた名前です。野草園では、シーズン最後に開花する花です。



台湾ホトトギス(ユリ科)

沖縄県などの亜熱帯地域の山地や森林の湿った場所に自生し、高さは30~50cmになります。和名は、斑点が入る花を、鳥のホトトギスの胸の模様に見立てたことに由来します。園芸用に品種改良されたものが多く栽培されていますが、本種は台湾ホトトギスと本州・四国・九州に自生するホトトギスの交雑種と思われます。



ジュウガツザクラ(バラ科)

コヒガンザクラの園芸品種で春と秋の2回花が咲きます。通常小木で、樹皮は暗灰褐色、若枝、成葉、葉柄などに毛があります。葉は互生し、倒披針形で質はやや厚いようです。花は淡紅白色で八重咲きです。名は十月桜で、秋から開花するからです。秋に咲く花は小形です。野草園では冬には休んで、また春に咲き始めます。



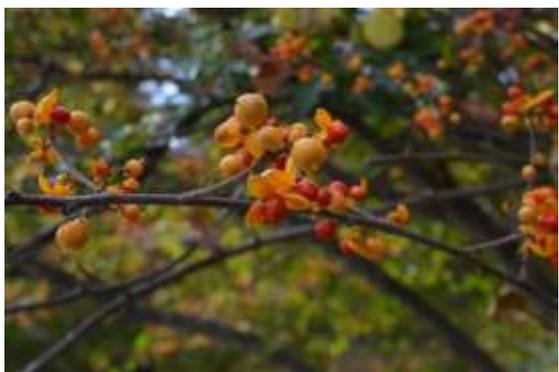
ナツハゼの果実(ツツジ科)

山地や丘陵地に多い落葉低木です。葉は互生し、広卵形で先はとがり全縁です。6月に本年枝の先に総状花序をだし、淡黄色の鐘形の花を多数つけました。果実は直径4～6mmの球形の液果で、表面は光沢があり頂部に跡がみられます。熟すと黒褐色になり、酸味があり食べられます。



ムラサキシキブの果実(シソ科)

山野の林内や林縁に生える落葉低木です。葉は対生で、形は長楕円形、先が尾状にとがり基部は狭いくさび形です。夏に淡紅色の小さい花をたくさんつけます。花も美しいですが、果実もまた、紫色でとても美しく見えます。果実は、葉が落ちた後も枝に長く残っています。名は美しい果実からつけられたようです。



ツルウメモドキの果実(ニシキギ科)

日本を含め、東アジア一帯に自生するつる性の落葉低木です。伸びた枝の先に黄緑色の花を集めて付けていました。今は、淡黄色に熟した果実がはじけ、3つに裂開し、その中から赤い仮種皮の種子が見えています。その姿がきれいなので、生け花の材料によく使われます。



イギリの果実(ヤナギ科)

本州以南に分布する落葉高木で雌雄異株です。和名の由来は、昔、その大きな葉で飯を包んだため「飯桐」と言われるようです。ブドウの房のように垂れ下がった果実は、ナンテンに似ているので、「ナンテンギリ」とも言われます。おいしそうに見える実ですが、まずくて食べられないようです。



サンシュユの果実(ミスギ科)

中国原産の落葉高木で、江戸時代に薬用植物として渡来しました。春、葉が開く前に淡黄色の小さな花をたくさんつけるので「春黄金花」と言われます。秋は果実が赤く熟すので「秋珊瑚」という別名もあります。果肉を乾燥したものを強壮、強精などの薬用に、果実を果実酒に利用します。



ハウチワカエデの紅葉(ムクロジ科)

寒い地方に生える代表的なカエデです。葉は対生で、掌状に7～11に浅裂または中裂し、基部はハート形です。大きい葉を羽うちわに例えたことが名の由来で、真っ赤に紅葉するものが多く、明るい橙～黄色に紅葉するものもあります。



ヤマモミジの紅葉(ムクロジ科)

北海道や日本海側に多い落葉小高木で、葉は対生で掌状に深く5～9裂し、縁は重鋸歯になっています。園内でも最も多いカエデです。紅葉は木全体の葉が赤くなるもの、黄色くなるものがあり、変異が多いです。



イタヤカエデの黄葉(ムクロジ科)

山地に生える落葉高木で、葉は対生し掌状に5～7に中裂～浅裂し、裂片の先端はとがります。秋に黄色く色づくカエデの代表で、成木はほぼ必ず黄色になりますが、若木や幼木は橙色や赤色に染まることもあります。



メグスリノキの紅葉(ムクロジ科)

落葉高木で、樹皮を煎じて洗眼に用いたので、メグスリノキと呼ばれています。対生する葉は三出複葉で、小葉は長楕円形です。春、枝先に付く白色花は余り目立ちませんが、秋は見事に紅葉します。



エノキの黄葉(アサ科)

山野の湿った場所に多く生育する落葉高木で、葉は基部から長く伸びる葉脈が目立ち、先半分に鋸歯があります。昔は一里塚の目印として街道沿いに植えられていて今でもその大木が見られる場所があるそうです。葉は黄葉します。